



地区広報

# おやまだ

第 15 号

平成 7 年 3 月 10 日



## 子育て講座

山田町 竹内みどり

### 楽しかった人形劇

「わあー、こんなにたくさん小さい子がいるんだ！」という印象で始まった、地区市民センターの「子育て講座」

同じような子育ての苦労や悩み、楽しみを持った人たちとの出会いが、自分自身の大きな糧となったような気がします。

最終回の催しとして、みんなで観た人形劇では、子どもたちが黒いカーテンの中に繰り広げられる人形の動きにすっかり夢中になってしまいました。

キラキラした瞳の子どもたちと一緒に、親も楽しいひとときを過ごすことができました。



# 守っていますか？ 分別収集

## 身近なところから環境問題を……

### 家庭ごみと取りくむ皆さんからの意見です

## 町ぐるみで

## 分別収集に取り組んで

鹿間町自治会副会長 萩 伸 元

ごみの分別は分けるのに手間がかかり、めんどうだという理由で、一般ごみの中へ空かんやビンをごちゃにしたり、収集以外の日に平気で出す。今まで心ない少数の人の行いが鹿間町全体のモラルを低下させていました。

収集作業所からは、「このような状態では」と苦情が再三あり、一部収集されませんでした。これらは盛夏になると臭気やハエがひどく、集積場の近くの家は一日中雨戸を締めたままでした。

自治会では、深刻なことに重視し、ごみ問題に立ちあがりました。

町民にごみの認識や士気の高揚をはかり、家庭から正しい知識を持つことの大切さを訴えよう。自分たちに出ることから始めよう。町民総ぐるみで取り組もう。などを組長会で申し合わせました。

さっそく組長と役員十七人で組織する「鹿間町美化実行委員会」を発足させたのが八月、指定日以外持込まないよう、集積場の入口によるい戸式門扉も作りしました。



九月一ばいを宣伝月とし、パンフレットなどを全世帯に配布、組長が各戸を訪問し口頭で協力を求めました。

また市の生活環境課や市民センターから来てもらって、映画会や正しいごみの出し方ごみ相談など、環境問題を話し合いました。

「どうして分別が必要か」「私一人ぐらいなら」「この程度なら」「自分さえよければ」などの意見も出ました。疑問に対して納得のいくまで勉強会も開きました。PR月も終わり十月からは本格的な分別収集に入りました。

北風の吹く冬の早朝、あたりはうす暗く、午前六時半から二人の組長が一つ一つチェック。分別されてないものはその場で持帰りをお願いしました。言いにくい事も今後のことを考え統一した方針に、あえて心を鬼にしてき然とした態度でのぞみました。

成七年一月からは、ほぼ守られるようになりました。収集作業所から「ずいぶんよくなった」との連絡もありました。

家庭のちよつとした心掛けと実践によって大きな成果が現われ、美化意識も向上しました。

これからもルールをよく守り、住みよい、きれいな鹿間のまちづくりをめざしたいと思います。

## 環境リーダー養成講座

### に出席して

婦人会 坂井うた子

婦人会から、今年度の環境リーダー養成講座に出席して改めて、みんなで心を合わせて環境を良くするということが大切さを感じました。

「自分一人位なら、たいして汚れることはない」と「つい川を汚したり」「ごみを分別しないで出したり」を皆がしたら大変なことになります。小山田地区を少しでもきれいな町にするには隣り近所の人達と相談し合い、知恵も出し合って工夫することも良いと思います。

私は不用品なども交換したり、譲って頂いたりして何でも使わせていただいています。

毎日、毎日の生活の中で、一人一人が小さい事でも気をつけて行きたいと思っています。

# 環境の向上めざす姿勢を!

## 呼びかけを忘れずに

山田町自治会長 宮崎 庄司

環境庁は今年の五月をめぐりに「環境を守る行動計画」を作成する方針だそうです。大量生産、大量消費、大量廃棄という社会の流れに添うてどこ迄できるか、現在の生活様式を変えない限り難しい状況ですが、各自が認識を深め継続して実行することが大事かと考えます。

山田町では、ごみの収集、犬の散歩について、毎回前日に町内放送をしています。

当番としては、一組三名か四名で、腕章をつけ、四カ所の集積場の区分監視（年間延二〇〇回）を皆の協力のもとに行っています。

年末年始のごみ収集のお知らせも自治会独自で作成して回覧し、「お互いに心掛け、いつもきれいにしましょう」「山田町を美しくしましょう」と

呼びかけています。残念なのは、町外からの持ち込み（当番時間終了後）です。

次に四日市市のごみ処理費一人当たりの年間経費は八千円強と予想もつかない巨額です。ごみの有料化は全国的な流れですが、消費者がごみの有料に慣れてしまうのも恐ろしいと感じます。

又、分別にしても正確にはガラスのように色ごとに分けなければ再生が難しいものがあるように、完全分別を義務付ける環境教育の必要性が生じると考えます。

ごみの減量、リサイクル、（リサイクル商品を促進して使用）が必要であり、これからは行政の役割が大きくなるでしょうが、製造、流通業者、消費者がそれぞれの役割を自覚して、これからの課題に総合的に取り組む必要があると思います。



# 家庭雑排水に

## 目を向けよう

内山町自治会長 矢田 哲



環境問題が言われるといつもゴミが話題になります。生活が向上して排出されるゴミの処分に行政も大きな予算と広大な処分場、そして多くの人が此の処分にかかわっています。同様に排出されるのに何となく処分されている一般家庭雑排水はどうなのか？

自然の流れのままに河川へ流れて直接生活の邪魔にならないので、大事な事とは知りつつ、そのままにしている感があります。

小河川の汚れはひどく、もはや河川と呼べるかどうか。一部では下水道も出来ているが郊外のたれ流しはひどいものです。又、集落排水の動きもあるが、高価補助の割には進んでいない現状です。ここらで家庭雑排水の問題を取り上げて、行政も地域も改善に取り組む必要があると思います。

近年、性能の良い浄化槽もできて、その気になれば改善されるのではないのでしょうか。企業等の汚水には声高になるのに自分達の事は、個人の問題にもなるからか、当たらずさわらず、さけて行こうと言う姿勢もあり、又、金のかかる事でもあって、なかなか取り組みにくい部分でもありますが、今一度、目を下に向けて排水路の見直しをする時期だと感じています。

# コンポストで

## たい肥づくり

西山町 伊藤 葉子

我家では、一年程前から、コンポストを畑に置きました。生ゴミをその中に入れると、土中のバクテリアにより発酵し、肥料になるといいます。

購入に際しては市から補助も出ます。

増える一方のゴミに対して「自分の回りで簡単にできる所から」が長続きの秘訣かと

思い始めました。入れる物は肉魚など動物性たんぱく質は匂いなどの面からさけ、野菜くずなどにした方が良いでしょう。

うじがわくという話をよく聞きますが、入れた後に土をかぶせておくと良いようです。近ごろでは薬などを使ってさらに、うじ防止の方法も広

# ごみの減量

## わが家では

山田町 平尾 幸美

我が家で心掛けている「ごみの減量」といっても、ささやかなことばかりですが……。

まず、牛乳パックやトレイは、きれいに洗ってスーパに置いてある再生用資源回収ボックスに必ず持っています。

それと、買い物の際、過剰な包装は出来るだけ断わるようにしています。

また、生ごみ以外の物は自宅で焼却し、その灰は畑に埋めています。それから、人数分の調理を

心掛けて残飯を出さないように、また、冷蔵庫の中の物を腐らせたりすることのないよう使い切るようにして生ごみの量を極力抑えるよう努めています。

又、山田町では環境委員の方が、収集日の前日にごみの出し方をくわしく放送してくれましたので、「あーあしたは再生ごみの日だ」と準備でき、朝になってあわてることがなく助かっています。



められているようです。忙しいといひゴミ箱へポイということになりがちですが、深刻なゴミ問題を考え、面倒がらずに続けたいと思います。



# あれこれ

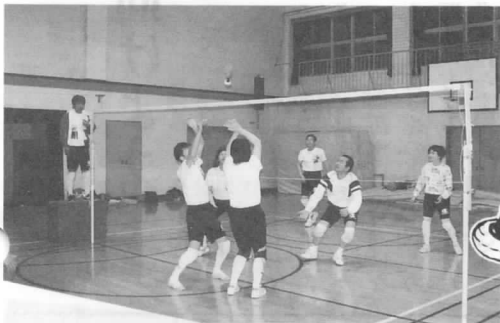


## 獅子舞

鹿間町 山家 多喜男

豊作や家内安全を祈る獅子舞が、このほど鹿間町集落センターで披露されました。

笛や太鼓に合わせてい勢よく舞い、大盛況でした。



二月十二日、緑地サプ体育館竣工式のインディアカ記念大会で小山田チームがブロック優勝しました。インディアカは長さ二十センチの羽根が四枚ついたバッドを手のひらで打ち合う手軽なスポーツです。トモロコシの葉を束ねて打ち合う南米等の遊びがドイツで改良され普及しました。

## インディアカ 頑張る

インディアカクラブ 平尾 孝見

ルールは、ほぼバレーボールと同じでバドミントンのダブルスコートを使用し、四人または六人制で行われます。二十代から五十代まで、ファミリー的な雰囲気の中、和気あいあいと練習しています。体力作りに一度のぞいてみませんか。毎日曜、夜七時半から小学校体育館で練習しています。



## まつり博パレード参加

小山田鼓笛隊 矢田 京美

去年の夏は猛暑で、いつもより練習が大変な中、暑さに負けずに一生懸命がんばっている子どもたちにとってもうれしく思いました。夏休みには、毎年参加している四日市まつりの他に、まつり博パレードに参加することができ、「オペラディオブラダ」「負けないで」を演奏しました。音楽にあわせて、ピエロのお兄さんやお姉さんが楽しそうに踊ってくれ、たくさんの人に聞いていただき、うまく演奏できて感激しました。鼓笛隊は、いつからでも入隊できますが、演奏活動だけでなくクリスマス会や合宿などの行事もあり、そして何よりも、楽器演奏の楽しさを身体で感じることができ、とても素晴らしいと思います。



## 交通安全勉強会

交通安全協会小山田支部 豊住 満

安全協会小山田支部では、各町ごとに交通安全について四日市南警察署から講師を招き、勉強会を約2時間行いました。交通事故防止のために皆で努力したいと思います。



## 「小山田学校」忘年会

青山里会 田中 明生

毎月第二木曜日に市民センターにおいて、地域の皆さんや、青山里会職員で、安心して老える町づくりを目ざして福祉の問題、日頃気になる地域の話題など、ワイワイ話し合う会、小山田学校が開催されます。これはその第五十一回目、十二月という事もあり忘年会のスナップです。さて何の話に花が咲いているのでしょうか？

# ささやかな義務として 平和の碑建立

六名町自治会長 中野 良昭

# おやまだ

## 平和の碑

戦後、四十九年の平和な月日が流れ、わが国は福祉国家として発展しました。想い起こせば、終戦前の五十余年間は、日清戦争、日露戦争、シベリア出兵、日中戦争、そして太平洋戦争等によって、幾多の人命が失われ、傷つきました。六名町においては六十余名を戦場に送り、そのうち十二名は帰らぬ人となりました。残された者は、災厄の多い窮乏の日暮らしに耐えて、山林や古墳までも開墾し、食糧増産に励みました。

今日の平和と繁栄の尊い礎になられた方々、自然に恵まれた故郷をいつまでもお護りください。そして若人に託したい。世界平和をたいせつに、自然をたいせつに。友と仲よく、いのちをたいせつにしてください。

平成六年八月十五日



六名町の町民一同が、今「平和の碑」を建立しようと思いついた理由は二つあります。一つは「大変でございました。安らかに故郷をお見守りください」と戦没諸霊に申したいからです。

戦後五十年、格段に整った住みよい故郷を、叶うものなら一目見て喜んでほしいとい

う切なる心情からであります。戦争を知らない世代へ、戦争の招いたさまざまな教訓を身近な資料に基づいて、ありのまま伝えようと考えたのが、もう一つの理由であります。

「平和の碑」の石の下に記録納入箱を設けて戦没者勲功の記録を残すことにし、従軍された各人の労功の記録も残します。

次世代の若人に自然の恵まれた好環境の保持、平和で協力的な素朴な心持ち、人情を持続、発展させるために労を惜まないことこそ、戦没者各位を哀悼する六名町民のささやかな義務だと信じています。

## 川床に大きな切株

山田町 矢田 信夫



## ご正忌参り

鹿間町 原田 良一

鹿間町恒例の「ご正忌参り」が12月27日夜、海善寺でおごそかに行われました。昔からの行事で親鸞聖人の通夜として説教と共に続けられているもので、町民約100人が参詣しました。

## 久間田神社 を美しく

鹿間町自治会長

市川 正徳

鹿間町自主防災隊（萩伸元隊長・隊員32名）は、鹿間町にある久間田神社の参道などの清掃をしました。

全隊員は制服姿で竹ぼうきやさらいで境内を美しくしました。台風26号の被害を受けて折れた松の太木などは初詣のドンドロ焼用に積み上げ、新年を迎える準備をしました。

また町内の「防火水槽」の点検も実施、一年を締めくくりました。



山田町は鎌谷川と足見川に挟まれた丘陵地に在り、この二つの川の恩恵で昔から米作りが盛んでした。

この写真は鎌谷川に直径約一・五メートル（黒松の巨木と思えます）の切株が今も残

っているものです。場所は向山橋と土橋との間で土橋の上流約一〇〇メートルの所、川床は一面の岩で株の中心は腐蝕して岩が入っています。樹皮と幹の一部が垂炭になる一歩手前残り、あたかも土俵場のような切株は水路に大形が二個と南堤寄りの草むらに一回り小さい直径約一メートルのものが二個あり、形の崩れたものも含めて調査すれば外に数個は有ります。

残念ですが山田町には、事実も由緒も不明の事物が多いので、鎌谷川以外のことでもご存じの方はぜひお教え下さい。



# あなたも始めてみませんか

## 健康で心豊かな毎日を送るために 地区市民センターで活躍する 生涯学習サークルを紹介します



しっかり  
スケッチ

### 水墨画 橋本 範子

季節の花々や野菜をモデルに、墨一色の濃淡で描きます。

筆の動かし方もままならずむずかしいと思いますが「上手に描くよりも楽しんで描こう」と気持ちを決めて、練習しています。

文化祭には先生に作品を裏打ちしていただき、額に入れると、何だかとても良い絵に見え、とても嬉しくなりました。



美しい  
音色にウツリ

### 大正琴 今村 すみへ

大正琴は発祥の地の碑が、名古屋の大須観音の境内にありますが、大正元年9月9日に売り出されました。

私達は広瀬先生に習い始めて10年になります。

右手にハッチを持ち、左手の指を動かす事は、ボケ防止のために役だっています。又美しい音色は心豊かにし、感動を与えてくれます。

全国大会、県大会、おさらい会、中京大会と発表の場もあります。



いつまでも若さを

### 新舞踊 みどり会 平尾 みね子

思い起こすと福堀さんの「先生にお願いするから」の一言から始まって、毎週一回センターで練習を重ね今にいたっています。

時にはボランティアで老人ホームで踊ったり、文化会館での発表会にも出場して、楽しい日々を過ごさせてもらっています。

練習日は頭を切り替えて、皆生き生きとし、体力と気力が続くうちはと頑張っています。



## 柔かく・若く・健康な身体 健康体操 行方 寿々代

健康体操とは、生命の貯蓄体操ともいわれ「要の体操」と「自強術」からなります。心身の安定と全身のバランス調整をし、呼吸法と共に力を抜き、体重や反動を利用して、身体をとまごし、身体

の「自然治癒力を強める体操です。続けていると、とても調子良く、身体が軽くなって健康そのものです。



一服どうぞ

### 茶道 青木 としる

お茶と言いますと、誰もがちょっとかまえてしまつて遠慮がちになります。

私も全く心得が無く、外でお茶を頂く機会が有つても、とまどつたりしていましたが、友達に誘われて、遊びのつもりで入れて頂いたところ、とても楽しく、おいしいお茶を頂けるようになりました。

友達も沢山できて、練習日を楽しみにしています。

## 菊花に心を添えて

### 園芸 矢田 信夫

小山田老人会のサークル活動の一つです。会員の丹精が美しい菊花となつて、地区文化祭にも展示し、好評を受けています。又、小山田病院には、温泉まつりと患者さんの慰問を兼ねて展示して大変喜ばれ、中でも小菊の花壇には見物者が集まり、育て方の質問にも応じて、日頃の成果が認められております。







みんな集まれ

テニス 磯部 治子

市民センターでの講習会をきっかけに、サークルとしての活動が二年目になりました。  
練習日は、第一、第二、第三土曜日の午前中です。講師の指導により、初心者の方や、経験者の方も基本練習を中心に試合形式へと、練習を進めています。  
又、子供のことや、学校のこと、地域のことなど、情報交換の場ともなっています。

おばあちゃんのセーターは暖かいね

手編み 田中 信子



第2・第4木曜日の午前中に12、3人が、杉崎先生に指導して頂いています。  
新しい毛糸だけでなく、押入れの中に眠っている古いセーターなどを取り出して、編み直し、新しく生き返らせたりしています。  
手編みは時間がかかりますが、軽く、そして何より暖かく、家族も大喜びです。  
地区文化祭にも、早くから何を出そうか色々考えて、素敵な作品を出品しています。

心のゆとりを

書道 伊藤 江美

いくつかの壁にぶつかり、なかなか思うようには書けません。皆で筆の使い方、字の線質、墨量の変化、空間といろいろ話し合いながら、一枚一枚練習してゆくのも、楽しいことです。

毎年、神彩展、書芸連展、養神展に出品し、他の方の作品と比べて反省することの多いこと、でも努力が大事です。

硬筆、かな、漢字何でも好きなものが練習できます。



どんな人形ができるのでしょうか

木目込み人形 長田 昭子

生涯学習の一環として、渡辺成子先生を講師に、月に二回第一、第三土曜日に習っています。  
人形を作る楽しさを味わい、和気あいあいと日頃の雑事も忘れて、とても楽しいサークルです。  
こつこつと出来上っていく人形を眺めながら、今日一日の幸せを感じています。作品は結婚や出産のお祝いにさし上げたりして、喜んでいただいています。

心身ともにリフレッシュ

新舞踊 桜珠会 矢田 照子

さき菊会所属、桜珠会は毎週火曜日、午後7時半から伊藤美智先生の指導のもとに稽古しています。

夕食後の一時を音楽に合わせて、楽しく身体を動かして心身ともにリフレッシュし、若返っています。

地区の行事や、三重まつり博にも出場しました。

「一生青春、一生勉強」の気持ちで、楽しい毎日をごせるよう、頑張りたいと思います。



季節を楽しんで



生花

辻 弘子

季節の花、色とりどりの美しい花、良い香り！皆さんも生けてみませんか。  
生花を教えて頂いてからは色々な野の花を自分なりの気持ちをこめて、華やかに、又そつと奥ゆかしく清楚に、と楽しんでいきます。  
庭に花の無い時期でも、お稽古の花を生けると部屋の中がぐんと明るく美しくなります。

# この人尋ね

⑩

## 盆栽はわが子と同じ

内山町 矢田 徳男さん



約千六百鉢位はあるという盆栽に囲まれて、内山町の矢田徳男さん（七十一歳）に話していただきました。

毎年、地区の文化祭にも、盆栽会の代表として、それは見事な松などを出品して、皆の目を楽しませてもらっています。

矢田さんが盆栽に魅せられるようになったのは、戦後間もなく、やはり内山町の矢田一さんから手ほどきを受けたのが始まりだそうです。

鈴鹿、愛知、岐阜の山々を回っては、松や杉などの小さい苗木を採取してきて、何年もかかって育てました。

昭和三十二年に三重県の北勢盆栽会を作って宣伝したことや、折からの盆栽ブームの波に乗って、



遠くから観光バスを仕立てて、買いに来るなど、売れに売れた時代もありました。

夏には枯らさないように、一日何回もの水やりなど、手間のかかる気の長い仕事ですが、本来、その木が持っている流れを生かしながら、より以上に美しく育てること、丹精をこめる程見事な自然の美が一番の魅力です。

又、盆栽を通して得た多くの人との交流も大きな財産だとのことです。

## 文芸らん

### 川柳

- 約束を果たす椿の落ちぬ間に 仏壇を磨く幻影おいなながら 山田町 矢田 照子
- 憎しみを捨てた数だけ愛拾う 犬と居るとても素直になる時間 山田町 矢田はるみ
- 子が探す捨てたと言えぬ宝物 しまたりを守って咲かす餅の花 山田町 矢田まさ子
- 還暦の親爺は派手に若返り 電話から元気な顔が見えてくる 鹿間町 酒井 三春

### 俳句

- 節水を呼びかけられて庭木枯れ 立ち話釣瓶落としの陽を受けて 鹿間町 酒井 三春

小山田軽費老人ホーム俳句同好会

- 晩鐘の長き余韻や銀杏散る 志せい
- 山茶花の下で我待つ猫の声 たなか
- 目覚むれば娘の家なりしお正月 しのだ
- もくもくと雲湧き出づる里の秋 吉岡
- 今年又明けそめる空命のぶ ちいこ
- やがて逝く日も遠からじ傘の春 麦 秋

### 短歌

- 愚痴きいてくれる人なき 吾が膝にのど鳴らしある 猫のぬくもり
- 背後より朝の挨拶掛けくるる ジョギングのシャツの 横文字躍る

鹿間町 酒井 三春

## 地区の人口 5,884人

(平成7年1月1日現在)

町名	世帯数	人口		計
		男	女	
山田町 (内老人ホーム)	967 (479)	908 (134)	1,211 (362)	2,119 (496)
鹿間町	268	449	479	928
西山町	185	323	350	673
小山町	150	299	304	603
堂ヶ山町	111	239	250	489
和無田町	103	206	199	405
内山町	55	99	109	208
六名町	49	97	90	187
美里町	45	138	134	272
計	1,933	2,758	3,126	5,884

## 編集後記

今号は環境問題を中心に編集しました。

たくさんの方の原稿と写真を寄せて頂きありがとうございます。

号を重ねるごとに益々充実した内容で、広報部のみならずのご協力のたまものと感謝しています。

地域の交流の場として今後の発展を期待しています。

文化広報部長 矢田 哲

浄土真宗に深く帰依し、称名念仏の声、常に村中にひびき続く中村同行衆には、言い伝えられる、このような恐しい行為はなかったもの信じますが、六名町の東の方に「嫁おとし」と言い伝えられている所があります。

東側は大木が林立し、昼間でも薄暗く奥深い山林。西側は深い絶壁の谷間の中に、細い曲った急勾配の坂道があ

### 言い伝え

#### 嫁おとし

六名町 田中弘治郎

農道ですが、この坂道を通らないと上の山の畑へ行くことができません。

ります。

足を滑らせれば深い谷間に転落する、危険きわまりない

昭和三十二年に三重県の北勢盆栽会を作って宣伝したことや、折からの盆栽ブームの波に乗って、

遠くから観光バスを仕立てて、買いに来るなど、売れに売れた時代もありました。

毎日ならみ合っている若嫁と姑があつたなら、通行しているうちには、姑が若嫁を谷間につき落としたことがあつたやもしれません。

万が一そのようなことがあつたならば、谷底で苦しむ若嫁に深い思いやりの情がおきます。

現地は三十年程前に一部土砂の採取があり、昔の暗いおもかげはありません。